

# 地域で育ち、地域を活気づける人材の育成をめざして

～コミュニティ・スクール元年 双方向の協力体制システムづくり～ 【下関市豊北中校区】

## 地域の概要

豊北町は下関市の北西に位置し、農業と漁業の盛んな町です。北は日本海、西は響灘に面し、青い海や白い砂浜、そして狗留孫山をはじめ緑豊かな山々に囲まれた、自然豊かなところです。また、全国的にも貴重な国指定史跡「土井ヶ浜遺跡」があり、豊かな地域資源を生かした特色ある教育活動が実践されています。

しかしながら、少子高齢化に伴い、児童生徒数は年々減少してきています。「地域に開かれた学校」をめざしている豊北中学校は、子どもたちの成長だけではなく、生涯学習や地域コミュニティの拠点としての役割も期待されています。

人口	10,717人	
世帯数	4,775世帯	
対象校及び児童生徒数	豊北中学校	190人
	神玉小学校	68人
	角島小学校	28人
	神田小学校	41人
	阿川小学校	35人
	栗野小学校	20人
	滝部小学校	101人
田耕小学校	22人	

## 組織の内容

下関市立豊北中学校（豊北町大字滝部）は、平成18年4月に、豊北町内の豊北第一中学校、豊北第二中学校、豊北第三中学校、角島中学校の4校が統合され開校しました。1階部分には地域住民も利用することができる図書スペース、ラウンジなども設けられた斬新な学校です。本を借りに来た地域の方が、子どもたちと気軽にあいさつを交わしたり、生徒の図工作品が展示されているコーナーを自由に見たりと、地域の方にも喜ばれています。

その豊北中学校は、今年度、地域とともにある学校をめざし「コミュニティ・スクール運営協議会」を設置しました。その構成メンバーは、元PTA役員、元小学校長、住職、主任児童委員、豊北町青少年健全育成協議会長、商工会青年部豊北支部長、現PTA役員、そして学校関係者3名です。

また、豊北町には7つの小学校があり、それぞれの学校ごとに、環境整備や授業でのゲストティーチャーなどの取組を通じて、地域と強く結びついています。今年度はその7校すべてにコミュニティ・スクール運営協議会が設置され、学校の教育活動に対しての支援体制が構築されつつあります。ただ、小学校数が多いため、それらの支援体制を包括的にまとめるということは、これからの課題と言えます。

その中で、豊北中学校は町内全域を校区とする新設の学校であり、学校の応援団組織としてはPTAが主たるものでした。そこで、地域に豊北中のことをもっと知ってもらいたい、豊北中の生徒には、地域にもっと目を向けてほしいという思いから、1年生では豊北町のPRポスター作りを、2年生では1週間の職場体験学習を実施しています。職場体験学習では、コミュニティ・スクール運営協議会のメンバーでもある商工会青年部豊北支部長の協力もあり、本年度は37の企業や事業所から受け入れ可能なお返事をいただきました。

地域にお住まいの高齢者世代の方々の協力だけではなく、学校行事やコミュニティ・スクール運営協議会を通し、現役で働いておられる方々にも学校応援団になっていただくとともに、学校に多くの人が集ったり、地域のニーズに応じて学校も協力したりして、多くの世代が双方向に協力し地域を活性化していくことのできる体制の構築をめざしているところです。

